

普及項目	担い手
漁業種類等	—
対象魚類	—
対象海域	八代海

不知火地区漁業士会活動支援

県南広域本部水産課・島田 小愛

【背景・目的】

不知火地区漁業士会は、担い手育成、魚食普及及び漁業所得の向上等を図るため、漁業体験教室、料理教室及び地域水産物のPR活動等を行っている。その活動の一環として、地びき網漁業体験教室や料理教室を開催し、漁業の重要性や魚食について、子どもたちや子どもたちを教育する立場となる方々の理解を深めてもらうことを目的とした。

【普及の内容・特徴】

(1) 漁業体験教室（地びき網体験）

地元で行われている漁業や海の生き物について学ぶ場を提供し、水産業に興味を持ってもらうきっかけづくりや地元水産物の食材利用促進を図ることを目的として、県内の児童やその保護者を対象に、地びき網体験教室や魚の学習会を開催した。

(2) 料理教室（おさかな漁師教室）

学校給食の栄養士の先生及び保育士を目指す学生を対象に、地域の食文化への理解を深めてもらうとともに、魚の捌き方の基本を覚えてもらうため、地元で獲れた食材を用い、三枚おろしから調理に至るまでを実演・指導した。

※詳細は表1を参照

【成果・活用】

(1) 漁業体験教室（地びき網体験）

学習会では、漁業士が普段行っている漁法や、地びき網で漁獲の恐れのある危険な魚、また当日実際に漁獲した魚についての説明を行い、参加者は興味津々に漁業士の話聞いていた。また、地びき網体験では、スズキ、コノシロ、ボラのほか、アカエイやイシガニなどを漁獲し、豊かな不知火海の恵みを改めて実感するとともに、漁業の大変さや楽しさも学ぶことができた。本教室により、子どもたちの漁業への興味が深まり、将来漁師を目指す人が少しでも増えることを期待する。

(2) 料理教室（おさかな漁師教室）

握り寿司や手巻き寿司、味噌汁や酢漬けなどを料理することで調理の楽しさを、完成後の試食会では地元熊本の食材の素晴らしさを実感し、魚食への理解を深めることができた。また、参加者からは、料理教室で習ったことを復習として家でチャレンジしたいという声や、食育の授業で地元食材を扱いたいとの意見があった。

表1 令和元年度取組概要

活動名	日時・場所	実施内容	対象者
漁業体験教室 (地びき網体験)	R1. 8. 17 宇城市	地びき網体験、学習会	三角小学校 4～6 年生及び 保護者等 約 100 人
	R1. 8. 24 芦北町	地びき網体験、学習会	熊本県内外の小学生及び 保護者等 約 150 人
料理教室 (おさかな漁師教室)	R1. 11. 25 あさぎり町	捌き方、料理教室	上中球磨学校給食連絡協議会 栄養教諭 5 人
	R1. 12. 5 熊本市	捌き方、料理教室	九州ルーテル学院大 保育コース 学生等 約 40 人



図1 地びき網



図2 不知火海の魚の学習会



図3 漁獲物の観察、紹介



図4 さばき方実演



図5 調理実習



図6 試食会